

第11回インテリアプランコンテスト二次選考の結果発表

第11回インテリアプランコンテストの最終選考(二次選考)の結果発表です。
※下記にて作品写真と氏名を、発表しております。

今回は、総応募総数93件の中から、先日の一次審査通過者(9名)による
模型審査になります。

大変な力作の出品、ありがとうございました。

表彰式は、平成30年3月1日(木)15:00~を予定しております。
式場は、大阪市住吉区苅田の「苅田記念会館」
受賞者の方には後ほど、正式にご案内させていただきますので、お待ちください。

今回、残念ながら受賞できなかった方の作品は、“空間工房ブログ”(当社HPにリンク有)にて、
後日、紹介させていただきますので御参照をお願いします。

本年度より、図面・模型を展示いたしておりますので、ご興味のある方は是非一度ご来店ください。
学生の方のご見学も歓迎です。

場 所:本社事務所(大阪市住吉区苅田 5-6-3)

時 間:9:00~18:00

期 間:平成30年2月28日まで



最 優 秀 賞

氏 名:谷口 悠貴さん 藤原 悠さん

作 品 名:箱窓の家

学 校 名:京都府立大学

コ ン セ プ ト

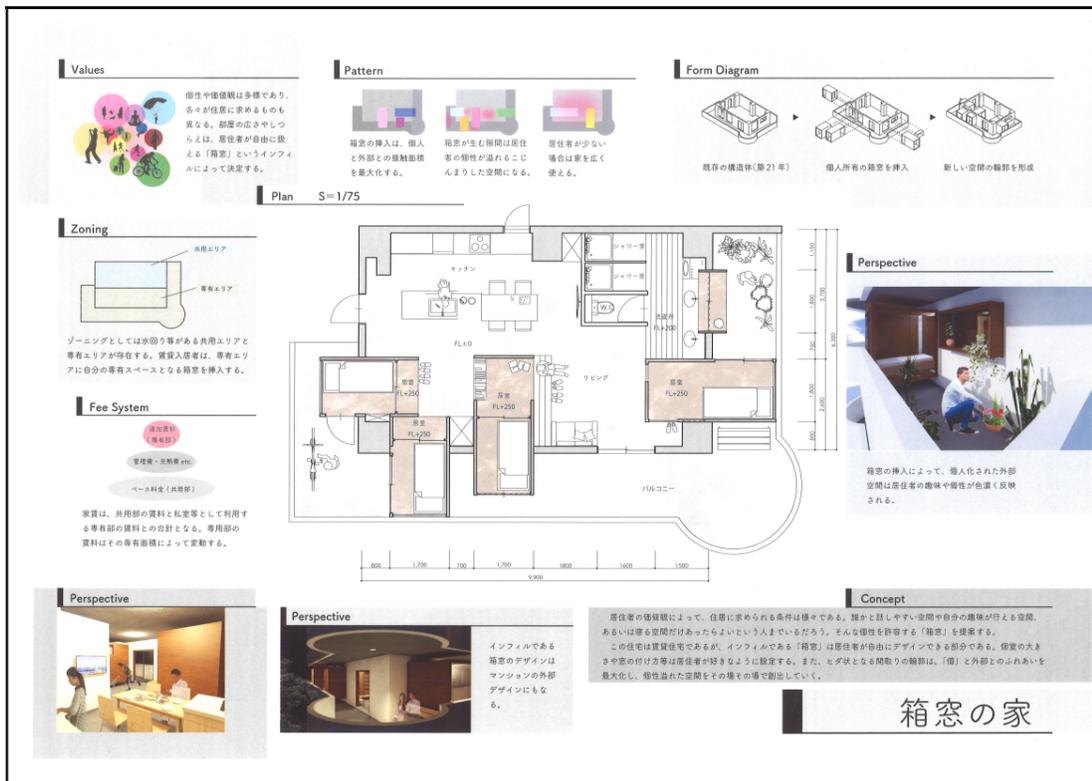
居住者の価値観によって、住居に求められる条件は様々である。誰かと話しやすい空間や自分の趣味が行える空間、あるいは寝る空間だけあったらよいという人までいるだろう。そんな個性を許容する「箱窓」を提案する。

この住宅は賃貸住宅であるが、インフェルである「箱窓」は居住者が自由にデザインできる部分である。個室の大きさや窓の付け方等は居住者が好きなように設定する。また、ヒダ状となる間取りの輪郭は「個」と外部とのふれあいを最大化し、個性溢れた空間をその場その場で創出していく。

模型



図面



優秀賞

氏名 : 松尾 彩里さん 廣末 美穂さん

作品名 : STEPS

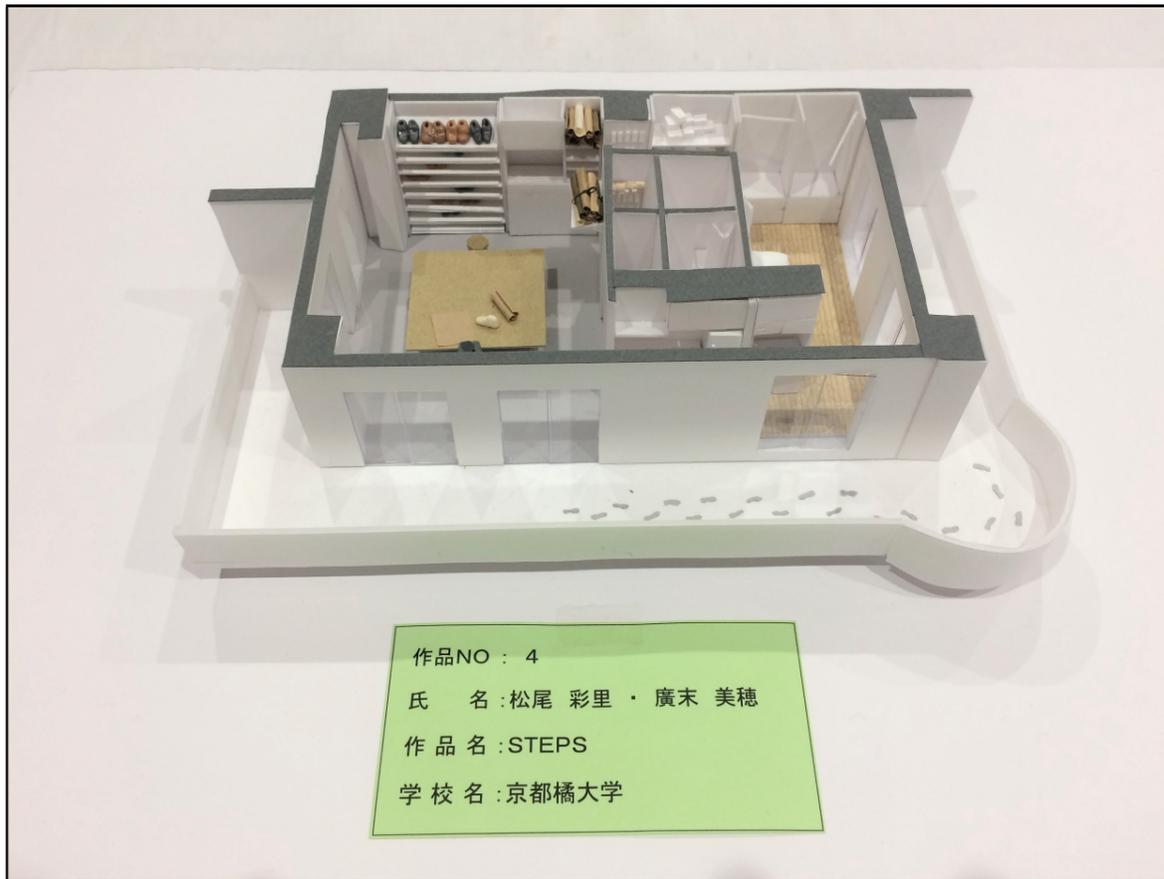
学校名 : 京都橘大学

コンセプト

余計な物を持たないことで、物を持つことによる裕福という概念を無くすることができる。そこで必要な物だけを残した。所有＝幸福ではなく、仕事や生活の中で幸福を得る。ソファとテレビをなくし、テーブルを中心とした多様な生活スタイルの中で様々な目的に使える土間での生活を提案する。

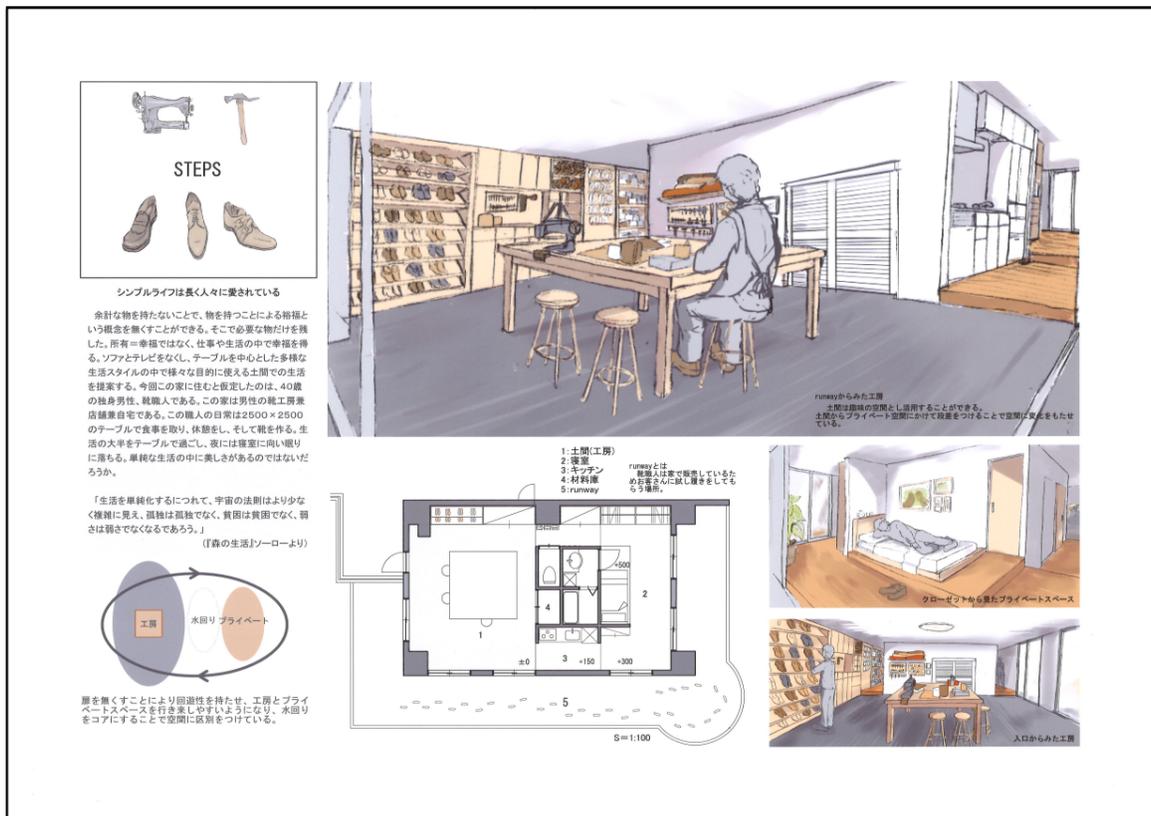
今回この家に住むと仮定したのは、40歳の独身男性、靴職人である。この家は男性の靴工房兼店舗兼自宅である。この職人の日常は2500×2500のテーブルで食事を取り、休憩をし、そして靴を作る。生活の大半をテーブルで過ごし、夜には寝室に向い眠りに落ちる。単純な生活の中に美しさがあるのではないだろうか。

模型



作品NO : 4
 氏名 : 松尾 彩里 ・ 廣末 美穂
 作品名 : STEPS
 学校名 : 京都橋大学

図面



優秀賞

氏名 : 渡辺 透さん
 作品名 : 模様替えする家
 学校名 : 大阪工業大学

コンセプト

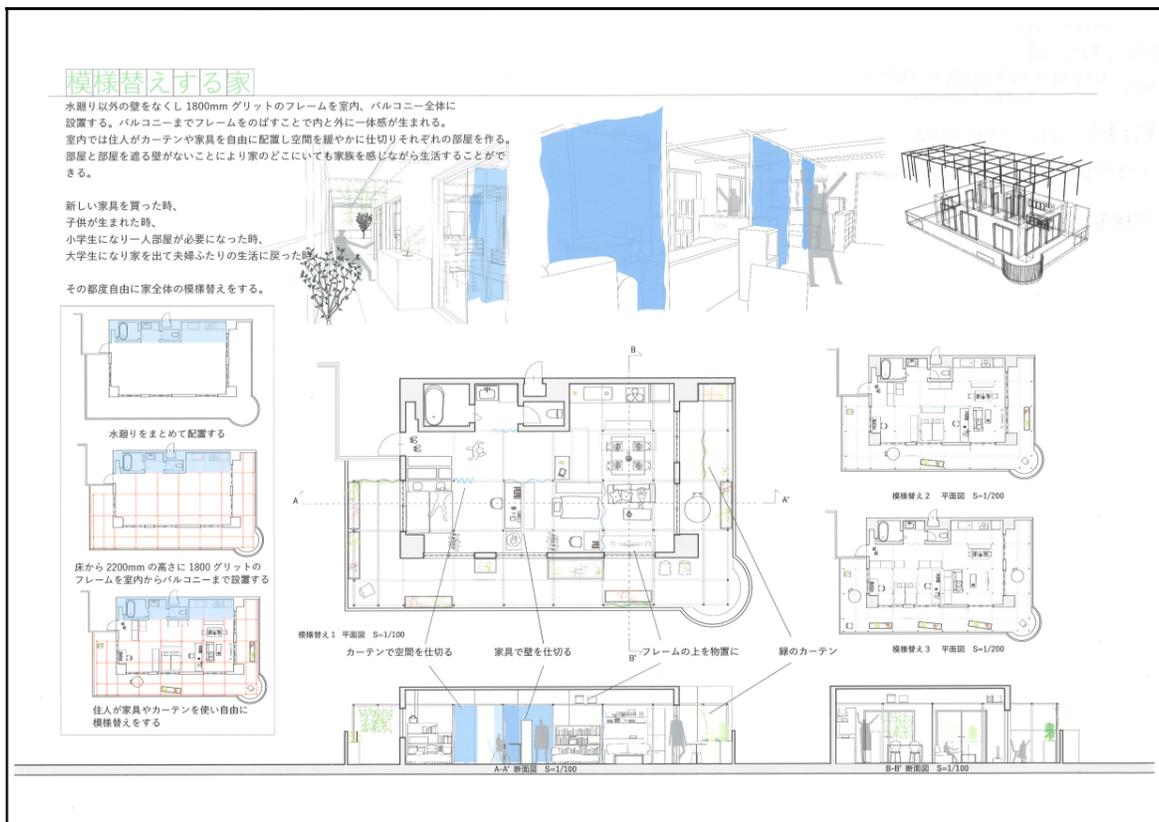
水回り以外の壁をなくし1800mmグリットのフレームを室内、バルコニー全体に設置する。バルコニーまでフレームをのぼすことで内と外に一体感が生まれる。室内では住人がカーテンや家具を自由に配置し空間を穏やかに仕切りそれぞれの部屋を作る。部屋と部屋を遮る壁がないことにより家のどこにいても家族を感じながら生活することができる。

新しい家具を買った時、
 子供が生まれた時、
 小学生になり一人部屋が必要になった時、
 大学生になり家を出て夫婦二人の生活に戻った時、
 その都度自由に家全体の模様替えをする。

模 型



図 面



審査委員の紹介

委員長 西濱浩次(株式会社 コンパス建築工房)

委員 松本彰人(株式会社 松本空間工房)

委員 柏原成治(株式会社 松本組)



柏原委員

西濱委員長

松本委員

審査風景



以上